

競技注意事項

本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、(社)日本マスターズ陸上競技連合規定及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

1 札幌市円山陸上競技場使用上の注意

- (1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- (2) 練習場所については、本競技場にサブトラックがないため、トラック外側のスペースを使用してよい。ただし、ホームストレートの使用は禁止する。
- (3) 男女 100m 実施中にバックストレートを練習場所として開放する。ただし、投擲種目の妨げになるためトラック内の芝生には入らないこと。開放時間については当日アナウンスする。
- (4) 開門時間は、駐車場（審判のみ利用可能）6:00、競技場 7:00 とする。
- (5) 朝のトラックを使用しての練習は、8:15（競技開始の 15 分前）までとする。
- (6) 朝のフィールド種目の練習に関しては行わないこととする。

2 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、競技場第 4 コーナー(100m スタート地点後方)とする。
- (2) 招集方法
 - ① 競技者は招集開始時刻までに 1 次点呼（○付け）を行い、その後、召集完了時刻に各競技開始場所へ直接集合すること。
 - ② 招集開始時刻までに 1 次点呼（○付け）を行わない、または、召集完了時刻に競技開始場所に居ない競技者は、当該競技種目を棄権したものとする。
 - ③ 各競技開始場所での最終点呼は代理人を認めない。
- (3) 招集開始時刻（○付け）及び召集完了時刻（現地集合時刻）は、すべてその競技開始時刻を規準とし、下記の通りとする。

種目	招集開始時刻	召集完了時刻
トラック種目	25分前	15分前
フィールド種目	45分前	30分前

- (4) 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係及びその競技の審判員に申し出て出場の許可を得ること。
- (5) リレー競技に出場するチームは、第 1 組の召集完了 1 時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。オーダー用紙は競技者係から受け取ること。
なお、小学男子のリレー競技（4×100mR）のオーダー用紙提出は、8時00分とする。

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはそれぞれ各団体、個人で割り当たった番号によるビブスを使用すること。必ずユニフォームの胸・背に着けること。但し、跳躍競技に出場する者は、胸・背のいずれかで良い。腰ナンバー標識は各個人が用意したものを使用する。個人トラック種目出場者については右側にのみつける。4×100mR については第 4 走者のみ右側につける。
- (2) 800m 以下のトラック競技出場者は、腰ナンバーカードを各自で用意し、右側後方に付けること。
- (3) 1500m 出場者は、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用すること。また、800m 出場者で 9 レーン以上の場合、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① スターターの合図は、英語（「On Your Marks」「Set」）で行う。不正スタートをした場合は、小学生は同じ競技者が 2 回で失格、中学生以上は 1 回目で失格とする。

- ② 短距離種目では、競技者安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。リレーのセパレートレーンでバトンパスを行う場合は、バトンパス後も自分のレーンを走ること。また、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。
- ③ タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、最終枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を判定する。それでも同成績者がありレーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会本部に来なかった場合は、主催者が代行する。
- (2) フィールド競技について
 - ① マスターズ男子・女子走高跳のバーの上げ方は、当日決定する。
- (3) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。
- (4) シューズの靴底（ソール）の厚さについて(TR5.2)
 - ① トラック種目について、800m未満の種目（4×100mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。
 - ② フィールド種目については、本大会ではTR5.2を適用除外とする。よってWAのフィールドシューズ規定に不適合なシューズを使用する場合でも、大会参加には影響はない。ただし、記録については国内で通用する記録としての取り扱い（公認記録、国内上位大会参加資格記録、大会記録）となる。よってその記録は国際大会等での参加資格となる記録やU18/U20日本記録としては認められない。
- ※必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。
- (5) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (6) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。
- (7) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意すること。
- (8) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものをを使用すること。
- (9) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

5 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表はアナウンスで行う。競技結果の掲示は行わないので、アスリートランキングで確認すること。但し、決勝のスタートリストのみ、招集所での掲示を行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則TR7に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員（トラック・フィールド）を通じてジュリーに文書で申し出る。

6 その他

- (1) 受付は、7時15分頃から救護室横の本部席にて行う。
- (2) プログラム訂正は、8時00分までに大会総務に申し出る。
- (3) 役員全体打合せは、8時00分からメインスタンド前で行い、その後各パート打ち合せを行う。
- (4) 種目ごとの1位にメダル、1位～3位には賞状を授与する。また、競技終了後、1

- 位から3位に入賞した競技者は、直ちに救護室横の本部席に集合すること。
- (5) 全競技終了後、最優秀選手賞（札幌陸上競技協会会長杯）、優秀選手賞（北海道新聞社、読売新聞社、報知新聞社、北海道日刊スポーツ新聞社）を授与する。なお、大会記録等、好記録樹立者から選考する。
 - (6) 参加者への大会プログラムは、各チーム1冊配布する。
 - (7) 参加者へは山崎製パン様より、一人一個ずつパンが提供される。
 - (8) 自分のゴミは持ち帰ること。
 - (9) テントの設置は、取扱説明書をよく読み、設営をしっかりと行い、風が強いときはたたむなど対策をすること。
 - (10) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、競技場内の救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
 - (11) 新型コロナウイルス感染症に関して、主催者は当該競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
 - (12) 本大会に関して寄せられた個人情報、本大会の目的以外に使用することはない。参加申込により、この取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・記録の紹介や掲示板、ホームページに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
 - (13) 車の駐車について、審判員のみ駐車券または審判手帳を警備員に提示して駐車できるが、一般の方は公共交通機関を利用するか、有料駐車場を利用すること。
 - (14) メインスタンド下段を一般応援席とするため、スタンドをチーム席とする場合には、上段を使用すること。